



Sensing &  
Communication

第 101 期

株主通信

平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

証券コード：6709

明星電気株式会社

# トップメッセージ

明星電気は、独自のSensing & Communication技術により  
革新的な商品・サービスを創造し、  
安全・安心な社会の発展に貢献してまいります



代表取締役社長  
兼最高経営執行責任者 (CEO)

石井 潔

## ■ 株主のみなさまへ

平素より格別のご支援、ご高配をいただき深く感謝申し上げます。

国内経済は、政府の経済対策効果や日本銀行による金融緩和を背景に個人消費や企業収益の改善が見られ、雇用及び所得環境が好転し設備投資も回復基調にあるなど景気は緩やかながら堅調に推移しました。一方では、新興国景気減速への警戒感や消費税増税後の景気減速懸念などから、先行きについてはいまだ不透明感が残っている状況です。

こうしたなかで、当社は、IHIグループの一員として、昨年2月に発表した中期事業計画に基づき、新たな成長に向けた事業体制の構築と協業によるシナジー効果の発揮、さらには広範な販売網を利用した売上拡大及び積極的な新商品の開発を全社一丸で取り組んできました。特に昨年度は競争力ある商品・サービスの開発を推し進めてまいりました。

2013中期事業計画の最終目標の達成に向けて、今年度はより一層のコストダウンと品質改善に取り組み、全社員がプロフェッショナルとしての誇りを持ってお客様に喜んでいただく商品、サービスの提供に努めてまいります。さらに新商品への積極的な開発投資を継続するとともに市場への投入を開始して業容の拡大に邁進していきます。

今後とも株主の皆様のご期待に沿えるように企業価値の向上に努めてまいりますので引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 売上高



## 経常利益・経常利益率



## 当期の業績について

当期の業績は、連結売上高7,652百万円（前期比17.7%増加）、営業利益100百万円（前期比28.0%増加）、経常利益129百万円（73.2%増加）となりました。当期純利益は、売上高及び営業利益・経常利益が当初計画を下回ったことから、保守的に繰延税金資産の取崩を行い結果的に103百万円の当期純損失となって前期に対して135百万円の減益となっております。前期末と比較して利益の増加は売上高の増加ほどには伸びておりませんが、これは中期事業計画達成のための研究開発を中心とした先行投資によって固定費が増加し、損益分岐点が上昇していることによるものです。

当連結会計年度の受注高については、気象防災分野を中心に8,485百万円と前期実績と比べ2,444百万円増加（40.5%増加）となり、前期の落ち込みから大幅に回復しております。また、受注残高についても前年同時期と比較して833百万円（42.6%増加）増加して2,786百万円と近年にない残高となっております。

財政状態につきましては、総資産は前連結会計年度末に比べて115百万円（1.1%）増加し10,220百万円となりました。純資産合計は、前連結会計年度末に比べて228百万円（3.9%）減少し5,647百万円となりました。当期純利益は103百万円のマイナス計上であり、更に株主配当を132百万円実施しましたので利益剰余金を減少させています。総資産は増加していますので、結果として、自己資本比率は前連結会計年度末の58.2%から2.9ポイント減少し55.3%となっております。

## 次期の見通し

今後の経営環境につきましては、企業業績や雇用環境の改善及び設備投資の持ち直しなどによって、緩やかながらも景気の回復基調は続くものと予想されますが、消費税増税による個人消費の冷え込みによって景気は腰折れするリスクも懸念されております。

一方で当社が中期事業計画で注力しております気象防災事業分野、宇宙事業分野は、引き続き国内外において今後の成長が大いに期待されている分野であります。このような状況下、当社は中期事業計画の確実な達成に向け本格的な事業部制に組織改編し、営業と技術の連携によって、販売力を強化させるとともに、管理責任者を配置することで業績管理の徹底を図り、より一層の「成長」の加速を目指してまいります。

以上の点を踏まえて、次期の業績見通しは、連結売上高8,500百万円、連結営業利益400百万円、連結経常利益400百万円、連結当期純利益250百万円を見込んでおります。

平成26年6月

## 当期純利益



## 総資産・純資産・自己資本比率



# 事業分野別概況

## 気象防災事業分野

この事業分野には、気象観測、防災、航空管制および水管理などの事業が含まれております。

気象観測の事業では、高層気象観測と地上気象観測があります。高層気象観測は、地上から上空30kmまでの気象データ（気温、湿度、気圧、風向、風速）を観測するラジオゾンデ観測システムが中心となっています。今後、海外へ展開する上で、機能・性能だけでなくランニングコスト低減を特長とした世界最軽量の新型ゾンデを開発しています。

地上気象観測では、航空自衛隊へ航空気象観測装置を納入いたしました。また、中国地方整備局から受注した「島地川ダム気象観測整備工事」では完成検査においてお客様より高い評価をいただきました。

防災の事業では、注目されている長周期地震動に関して気象庁は長周期地震動階級という指標を設けましたが、当社はその階級を自動演算する世界初の長周期地震動に対応した震度計を開発、気象庁に納入しました。また、地下埋設型の完全防水タイプの地震計を開発、中国農政局に納入いたしました。

更に日本電気㈱からはフィリピン向けの津波計、強震計を受注いたしました。本受注案件を確実に遂行し、今後の海外事業の拡大に繋げてまいります。

航空管制の事業では、非常用管制システムを大阪国際空港に納入しました。本システムは、空港の管制塔機能が災害等により喪失した場合の代替システムとして運用されます。東日本大震災では、過去に納めた同システムが仙台空港の復旧に貢献いたしました。

こうした実績を基に、国が推進している海外へのインフラ事業の展開に合わせて、航空管制システムの海外展開を進めてまいります。

水管理の事業としては、津波対策として、千葉県港湾事務所からの受注案件である自動ゲート閉鎖システムを市原地区白旗水門に設置しました。今後は、更にIHIグループとの取り組みを強化させ、水管理事業の発展を目指してまいります。

58.5%

● 売上高推移

(百万円)



ラジオゾンデ放球風景



津波計



強震計



千葉県白旗水門

## 宇宙防衛事業分野

30.3%

宇宙や防衛分野においては観測機器をはじめとする数多くの革新的な製品やシステムの開発を通じて、国家的な宇宙開発プロジェクトや、わが国の安全保障に貢献しています。

宇宙事業では、衛星・ロケット、国際宇宙ステーション (ISS) 関連のシステムおよび搭載機器を扱っております。

イプシロンロケットでは姿勢制御装置用ホットガスバルブ (HGV) やカメラ、画像圧縮伝送装置を納入し、ロケットの機体状況や点火・分離の様子などを撮影した迫力のある映像を地上にお届けしました。

防衛事業では、当社の得意とするセンシング技術とコミュニケーション技術を利用した各種探知装置・気象測定システムなどがあります。IHIグループと連携して事業の発展を目指してまいります。



ロケット搭載カメラ



HGVモータ



## 新事業分野

IHIから委託を受け、三次元レーザレーダの生産を開始しました。同装置は、高速形状認識装置として物体の位置や速度をリアルタイムで計測する踏切障害物検知装置です。降雨や降雪、夜間などでも確実に対象物を検知するもので、今後、更なる事業発展が期待されます。当社としてもIHIと協同し、この事業発展に貢献してまいります。



三次元レーザレーダ

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当期 平成26年3月31日	前期 平成25年3月31日
<b>資産の部</b>		
流動資産	6,777	6,644
現金及び預金	675	356
受取手形及び売掛金	4,563	4,358
棚卸資産	1,117	1,103
繰延税金資産	227	437
その他	192	388
固定資産	3,442	3,459
有形固定資産	3,205	3,217
無形固定資産	56	56
投資その他の資産	180	186
資産合計	10,220	10,104

科目	当期 平成26年3月31日	前期 平成25年3月31日
<b>負債の部</b>		
流動負債	2,485	2,086
買掛金	1,759	1,517
製品保証引当金	152	103
未払消費税等	110	57
賞与引当金	189	147
その他	272	260
固定負債	2,087	2,142
環境対策引当金	15	50
その他	2,071	2,091
負債合計	4,572	4,228
<b>純資産の部</b>		
株主資本	4,090	4,327
資本金	2,996	2,996
利益剰余金	1,095	1,331
その他の包括利益累計額	1,557	1,548
純資産合計	5,647	5,875
負債・純資産合計	10,220	10,104

## 連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当期 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで	前期 平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで
売上高	7,652	6,504
売上原価	6,156	5,056
売上総利益	1,495	1447
販売費及び一般管理費	1,395	1368
営業利益	100	78
経常利益	129	74
法人税等調整額	216	△ 8
当期純利益	△ 103	32

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (単位：百万円)

科目	当期 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで	前期 平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	419	757
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 194	△ 430
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 123	△ 225
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	102	100
現金及び現金同等物の 期首残高	696	595
現金及び現金同等物の 期末残高	799	696

※連結財務諸表は、百万円未満を切捨てて記載しております。

## 伊勢崎市「POTEKA」プロジェクト

2013年夏より、産官学連携で地域稠密気象観測「伊勢崎市POTEKAプロジェクト」を開始しました。このプロジェクトは、伊勢崎市の小中学校および公園、群馬県および埼玉県、栃木県のセーブオン店舗計55箇所に小型気象計「POTEKA」を設置、従来観測網より稠密な2~4km間隔でリアルタイムに得られたその場の気象観測データが、地域の熱中症予防や教育活動等に役立つことを実証する取り組みです。

その成果として、群馬県高崎市などで8月に発生したダウンバーストとみられる現象を捉え、また9月に群馬県みどり市で発生した竜巻通過時の気圧変化を観測することができました。これらダウンバーストや竜巻など短時間で局所的に発生する現象の観測は非常に難しく、気象学の専門家からも高い評価をいただいています。

さらに、7月より四ツ葉学園中等教育学校の2、3年生計32名と半年にわたりPOTEKAの活用における共同研究を行い、12月には研究発表会を行いました。

当社は、今後も局所的気象現象による被害の軽減や地域に役立つ情報を提供するとともに、事業化に向けた新しいビジネスモデルの構築を進めていきます。



四ツ葉学園中等教育学校との共同研究会



実証実験に使用したPOTEKA



地上観測網POTEKAの捉えた2013年8月11日のダウンバースト観測図

## 早期地震警報システムと地震計

2015年春に北陸新幹線が開業し、東京と金沢が2時間30分でつながります。当社は、この北陸新幹線に早期地震警報機能付き地震計を用いた、新幹線用の早期地震警報システムを（公財）鉄道総合技術研究所に納入しました。

早期地震警報システムとは、新幹線の線路沿いとその周辺の海岸や山間部に設置された地震計を用いて、線路に揺れが到達する前に自動でエリア内の新幹線を安全に止めるシステムです。

当社の地震計は、この早期地震警報システムの要である正確な初期微動検知とデータの伝送を担っています。また、北陸新幹線に続き2016年春に開業する北海道新幹線にも当社の地震計が採用されています。

今後も新幹線の安全運行に寄与するために、地震計測技術とシステム開発に努力してまいります。



長野新幹線「あさま」



早期地震警報システム



四万川ダム

## しまがわ 四万川ダム・テレメータ放流警報設備更新工事

群馬県四万川ダムは、四万川流域の洪水被害の軽減、中之条町及び太田市など東毛地域の水道水の確保、発電を目的として建設された多目的ダムです。

群馬県・県土整備部より、老朽化更新のため、テレメータ放流警報設備の更新工事を受注し、完成しました。

テレメータ装置は、上流域の雨量観測、上流・下流域の水位観測を行い、ダム管理所の監視装置にて情報表示をします。放流警報装置はダムからの放流に先立ち、流域住民の安全確保のため、サイレン、音声放送、回転灯の点灯等を実施し、警報を発生する装置です。

当社の技術が、地域住民の生活、安全のために役立てられています。



放流警報装置

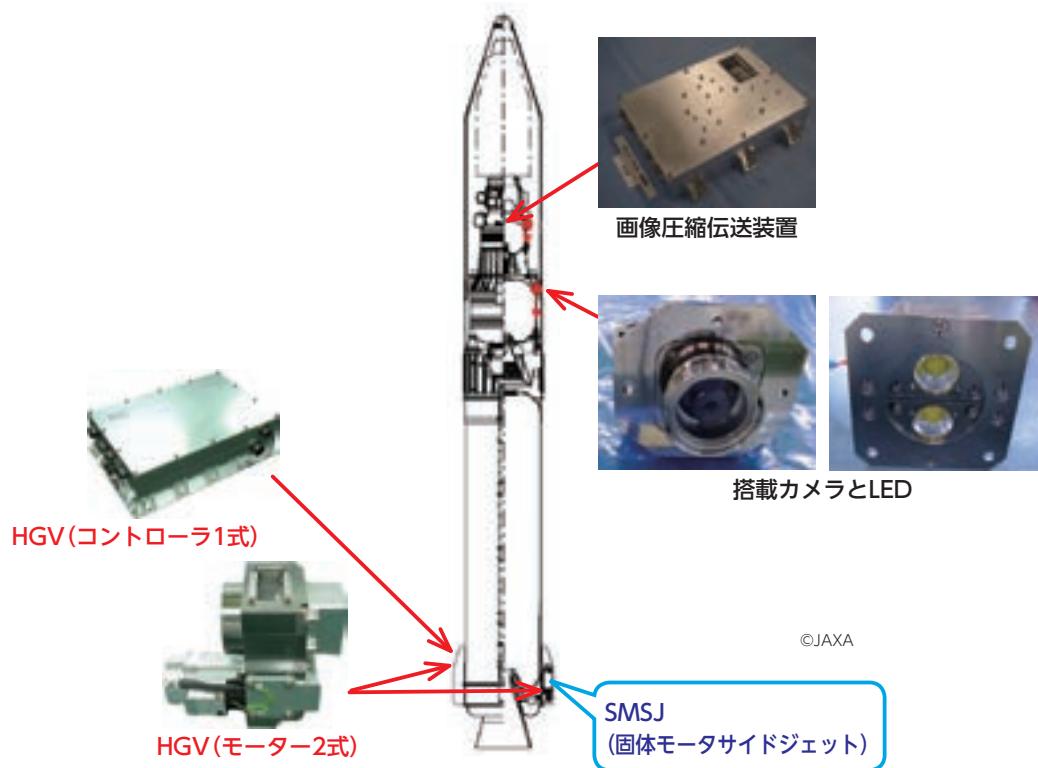
## イプシロンロケット搭載機器

2013年9月14日14時00分、惑星分光観測衛星「SPRINT-A」（愛称：ひさき）を載せたイプシロンロケット試験機が鹿児島県内之浦宇宙空間観測所から打ち上げられました。

イプシロンロケットの姿勢制御装置に使用されるHGV（Hot Gas Valve）駆動システムのモータコントローラは、当社が新規開発した製品であり、打ち上げ成功に重要な役割を果たすことができました。

その他、H2A/Bロケットで実績のある、ロケット搭載カメラ4台と画像圧縮伝送装置（PCE）1台が搭載され、機体状況や点火・分離（衛星分離含む）の様子などを捉えることに成功し、また、打ち上げ前の通信系試験の一部は当社製のRTTS（イプシロンロケット用レーダトランスポンダ試験装置）を使用して実施されました。

当社は、今後も日本のロケット技術・産業の発展に向け取り組んでまいります。



# 会社概要・株式の状況

## 会社の概要 (平成26年3月31日現在)

商号	明星電気株式会社
本社	群馬県伊勢崎市長沼町2223
設立	1938年2月20日
資本金	2,996百万円
従業員数	353名 (連結)

## 事業所 (平成26年7月1日現在)

本社	〒372-8585 群馬県伊勢崎市長沼町2223 電話 伊勢崎 (0270) 32-1111 (代表)
東京事業所	〒135-8115 東京都江東区豊洲三丁目1番1号(豊洲IHビル10階) 電話 東京 (03) 6204-8250 (代表)
支店	北海道支店 (札幌)、東北支店 (仙台)、 関東支店 (東京)、関西支店 (大阪)、 中四国支店 (広島)、九州支店 (福岡)
出張所	中部出張所 (名古屋)、 沖縄出張所 (西原)

## 役員一覧 (平成26年6月26日現在)

代表取締役社長	石井 潔
常務取締役	寺島 光彦
取締役	柴田 耕志
取締役	羽根木 武
取締役	橋本 英人
常勤監査役	谷田貝 勉
監査役	入澤 武久
監査役	石田 俊明

## 株式の状況 (平成26年3月31日現在)

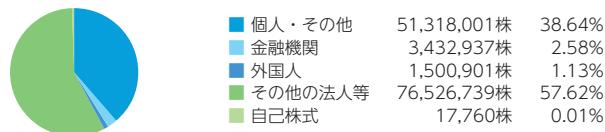
発行可能株式総数	235,560,000株
発行済株式総数(自己株式含む)	132,796,338株
株主数	7,866名
自己株式数	17,760株

## 大株主一覧 (平成26年3月31日現在)

株主名	所有株数 (株)	持株比率 (%)
株式会社 I H I	67,720,000	51.00
日本証券金融株式会社	2,871,000	2.16
日本電気株式会社	2,634,772	1.98
荒井 忍	1,418,000	1.06
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	1,290,000	0.97
ヒロヨコ山合資会社	800,000	0.60
クレディスイアーズ・チュリツヒジデントウキョウ	710,000	0.53
株式会社 S B I 証券	707,000	0.53
有限会社 荒井 経済研究所	693,000	0.52
住友生命保険相互会社	535,000	0.40

※株式持株比率は、自己株式 (17,760株) を控除して計算しております。  
※持株比率は、小数点第三位以下を切捨てて記載しております。

## 所有者別株式分布状況 (平成26年3月31日現在)



## 所有数別株式分布状況 (平成26年3月31日現在)



## 地方別株主分布状況 (平成26年3月31日現在)



※上記株式及び株主分布状況は、小数点第三位以下を切り捨てて記載しております。

# 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	3月31日
監査法人	新日本有限責任監査法人
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
公告方法	当社のホームページ ( <a href="http://www.meisei.co.jp/">http://www.meisei.co.jp/</a> ) に掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
単元株式数	1,000株
上場証券取引所	東京

当社では、単元株に満たない株式の買取りを行っております。  
買取りをご希望される株主様は、株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

## 当社ホームページについてのご案内



<http://www.meisei.co.jp/>



当社ホームページでは、当社に関わる様々な情報の提供を随時行っております。  
まだご覧になられていない株主様がいらっしゃいましたら、ぜひ一度ご覧ください。

私たちは、独自のSensing&Communication技術により  
革新的な商品・サービスを創造し、安全・安心な社会の発展に貢献していきます



## 明星電気株式会社

本社 群馬県伊勢崎市長沼町 2223  
東京事業所 東京都江東区豊洲三丁目1番1号  
TEL 0270-32-1111(代)  
<http://www.meisei.co.jp/>

**UD FONT**

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

